

地域人文化学研究所 令和元年度 総会議事録

- 1 日 時 令和元年6月9日
開会 午前11時00分
閉会 午後11時40分
- 2 場 所 豊田市足助町本町15番地
寿々家新館2階座敷
- 3 出席者数 12名（内、議長への委任者6名）

4 審議事項

- (1)第1号議案 平成30年度事業報告について
(2)第2号議案 平成30年度収支報告について
(3)第3号議案 令和元年度事業案（予算案を含む）について
(4)第4号議案 令和元年度役員案について

5 議事の経過の概要及び議決の結果

(1)開会

定刻に至り、代表理事 天野博之が開会の辞を述べた。

表決委任者を含め、運営会員の過半数の出席者数を得られたので総会が成立した旨を確認した。

定款により、代表理事が議長を務めることを宣言し、議事を進行した。また、今回の議事録書名は省略する旨を確認した。

(2)議案の審議及び結果

ア 第1号議案 平成30年度事業報告について

代表理事は、予め配布した資料1「事業報告（案）」に基づき、平成30年度に実施した事業の説明を行った。議案の承認は、第2号議案と一緒に行うこととした。

イ 第2号議案 平成26年度収支報告について

続けて代表理事は、予め配布した資料2「収支決算書（案）」に基づき、平成30年度の収支決算について説明した。また、予め配布した資料3「会計監査報告書」について、監査結果が正確かつ適正であることを確認した。

第1号議案と第2号議案について、議長が議場に質疑を求めたが発言はなかった。議長が議場に第1号議案と第2号議案について承認を求めたところ、全会一致で原案どおり承認された。

ウ 第3号議案 令和元年度事業案について

代表理事は、予め配布した資料4「主要事業（案）」及び資料5「収支予算書(案)」に基づき、事業計画及び予算案について説明した。補足として、寿々家再生プロジェクトについて、改修工事中にクラウドファンディングの返礼品として、また一般参加も可能なワークショップの企画について説明し、協力を求めた。

第3号議案について、議長が議場に質疑を求めたところ、下記の質疑応答等があった。

・ 寿々家再生プロジェクトについて、今年度の改修工事は設計上第一期工事の位置付けとなっている。来年2月までの工事内容では、地階の内装を含め途中となるが、2月のオープン時にはどのような活用を図るのか？

→水道とトイレが整備されることによって、これまでよりも格段に便利になり、飲食の提供等を含め使い方の幅が広がる。内装や設備等の整備は未定だが、可能な範囲で活用を図っていく。第二期工事以降については、資金繰りの目途ができ次第となる。

・ 内装等はボランティアを募って行うとよいと考えているが、WE LOVEとよたフェスタでブースを出して募ったらどうか？会場で大工の実演等を見せるとよいのでは？

→WE LOVEとよたフェスタへの出展準備等をほぼ一人で行っており、なかなか大変。展示解説については会員のご協力もあり、昨年度は世間遺産について情報発信が一定程度出来たと考えている。来場者の内訳や実際に話してみるとその中からボランティアを募るのは難しいと感じている。ただし、準備等、会員の協力が得られれば、ブース出展も検討したい。

・ 改修中でもできることと、改修中だからできることがある。ワークショップ等、上手に企画するとよい。竣工記念事業も、今年度の事業として位置付け、新しい寿々家をどのように使っていくのかを考えるきっかけにしてはどうか？

→寿々家の現場を活用したワークショップ等については、積極的に取り組んでいきたい。ご提案をいただいたように、改修工事中ならではの現場見学や、今後の活用の提案を含めて、参加者と次の仕掛けを作っていくように考えてみたい。会員の皆様にも専門家としてのご協力を賜りたい。

・ 設計に関わっている者として、第一期工事の設計は、プロジェクトの次につながるように考えている。

質疑応答等の後、議長が議場に第3号議案について承認を求めたところ、全会一致で原案どおり承認された。

エ 第4号議案 令和元年度役員案について

代表理事は、予め配布した資料6「役員（案）」に基づき、令和元年度の役員体制について説明した。

議長が議場に承認を求めたところ、原案どおり承認可決された。

(3)閉会

以上をもって、設立総会の議事をすべて終了したため、議長が午前11時40分に閉会を宣し解散した。

（議事終了後、寿々家改修工事現場の見学を行った。）

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和元年6月11日

代表理事 天野 博之

以下議事録署名省略